

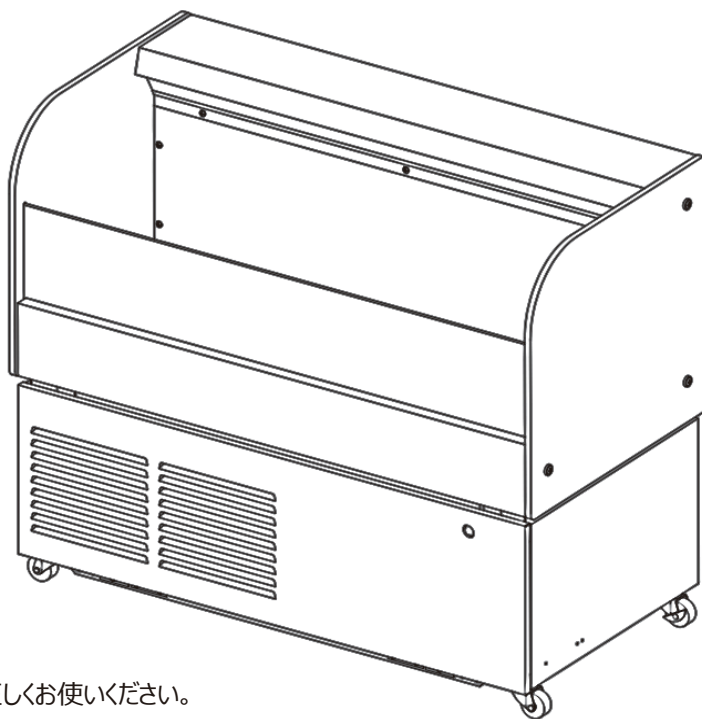
三菱ショーケース（冷凍機内蔵形）

エスピー エイチエス エーアールデー

SP-HS362ARD

（業務用）

取扱説明書



- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全のために必ず守ること」は必ず読んで正しくお使いください。
- 「保証書」はお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- お使いの製品を譲渡または貸与される場合は、新しくお使いになるお客様が安全な正しい使い方を知るために、この「取扱説明書」を製品の目立つところに添付してください。
- 別添の「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。また製品を譲渡や貸与されるときは製品に添付してください。
- ご使用されるお客様自身で据え付けしないでください。
（安全や機能の確保ができません）

お取扱販売店の方へ

ショーケースをお客様に引き渡しされる前に必ず取扱説明書で、「安全のために必ず守ること」「ご使用方法」等をお使いになる方にご説明ください。

もくじ

	ページ	
ご使用前に	安全のために必ず守ること	3
	ご使用上のお願い	5
	各部のなまえとはたらき	6
	運転動作について	8
	ご使用前の準備	10
	据え付け場所の選定	…10
	設置	…11
	電源	…11
ご使用のときに	ご使用方法	12
	冷却運転を開始・停止する	…12
	商品をいれる	…13
	吸込ガードのはずしかた	…13
こんなときに	お手入れと点検	14
	お手入れ・点検箇所と頻度	…14
	お手入れをする前に	…15
	フィルタ お手入れ頻度：月に1回	…16
	ドレン口・ドレン溝 お手入れ頻度：月に1回	…16
	蒸発板 お手入れ頻度：半年に1回	…17
	電源プラグ お手入れ頻度：半年に1回	…18
	蒸発皿 点検頻度：日常	…19
	漏電遮断器 点検頻度：月に1回	…19
	消耗品	…19
	故障かな？と思ったら	20
	運転しない運転が止まる	…20
	蒸発皿にドレン水が頻繁に残る	…20
よく冷えない	…20	
フィルタ清掃ランプが点灯する	…21	
フィルタ清掃ランプが消灯しない	…21	
音がうるさい	…21	
据付工事確認と試運転	22	
保管・移設・廃棄について	22	
仕様	23	
保証とアフターサービス	24	

安全のために必ず守ること




お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆ 誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告	 注意
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

◆ 図記号の意味は次の通りです。








してはいけない「禁止」事項		
 禁止	 分解禁止	 接触禁止
 ぬれ手禁止	 水ぬれ禁止	

お守りいただく「指示」事項	
 指示を守る	 アース接続
 電源プラグを抜く	

電源プラグ・電源コード

 警告	 禁止	電源コードに重いものをのせたり挟み込んだりしない 火災・感電の原因	 禁止	電源コードを傷つけたり、加工しない 火災・感電の原因
	 禁止	電源コードを無理に曲げたり、たばねたりしない 火災・感電の原因	 禁止	電源プラグはコードを引っ張って抜かない 発熱・火災の原因
	 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因	 禁止	電源コードは延長コードの使用やタコ足配線をしない 発熱・火災の原因
	 ほこりを取る	電源プラグのほこりを定期的に取り取る 火災の原因	 差し込む	電源プラグは、がたのないように刃の根元まで確実に差し込む 火災・感電の原因

据え付け時








 警告	 水ぬれ禁止	屋外で使用しない 火災・感電・漏電の原因	 水ぬれ禁止	湿気の多い所や、水のかかりやすい場所に据え付けない 漏電・感電の原因
	 依頼する	据え付けは取扱販売店または設置業者に依頼する 火災・感電・水漏れの原因	 使用する	電源は専用の単相100Vコンセントを使用する 発熱・火災の原因
	 アース接続	アースを接続する アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない 感電の原因	 固定する	製品質量に十分耐える所に据え付け、固定する ケガの原因

安全のために必ず守ること っつき

ご使用时

 警告	 <p>製品に直接水をかけない 漏電・感電の原因</p> <p>水ぬれ禁止</p>	 <p>揮発性・引火性のあるものは 庫内に入れない</p> <p>爆発・火災の原因</p> <p>入れない</p>
	 <p>可燃性のスプレーを近くで 使用したり、可燃物を置か ない</p> <p>爆発・火災の原因</p> <p>置かない</p>	 <p>ぬれた手で電気部品のスイ チを操作しない</p> <p>感電の原因</p> <p>ぬれ手禁止</p>
	 <p>漏電遮断器が作動した場合、 電源プラグを抜くか、元電源 を切る</p> <p>火災・感電の原因</p> <p>電源を切る</p>	 <p>異常時は運転を停止して電 源プラグを抜くか、元電源を 切る</p> <p>火災・感電の原因</p> <p>電源を切る</p>
 注意	 <p>製品の上には重量物や水を 入れた容器を置かない</p> <p>ケガ・感電の原因</p> <p>置かない</p>	 <p>製品の上に乗らない</p> <p>ケガの原因</p> <p>乗らない</p>

点検・お手入れの時

 警告	 <p>専門業者以外の方は絶対に 分解・修理・改造をしない</p> <p>火災・感電・水漏れ・ケガの原因</p> <p>分解禁止</p>	 <p>指定以外の冷媒を使用しない</p> <p>破裂・ケガの原因</p> <p>使用しない</p>
	 <p>お手入れや点検のときは必 ず電源プラグを抜くか漏電 遮断器を切る</p> <p>感電・ケガの原因</p> <p>電源を切る</p>	 <p>漏電遮断器は定期的に動作 を確認する</p> <p>火災・感電の原因</p> <p>確認する</p>
 注意	 <p>フィルタ清掃時は凝縮器フィン に直接手を触れない</p> <p>ケガの原因</p> <p>接触禁止</p>	

保管・移設時

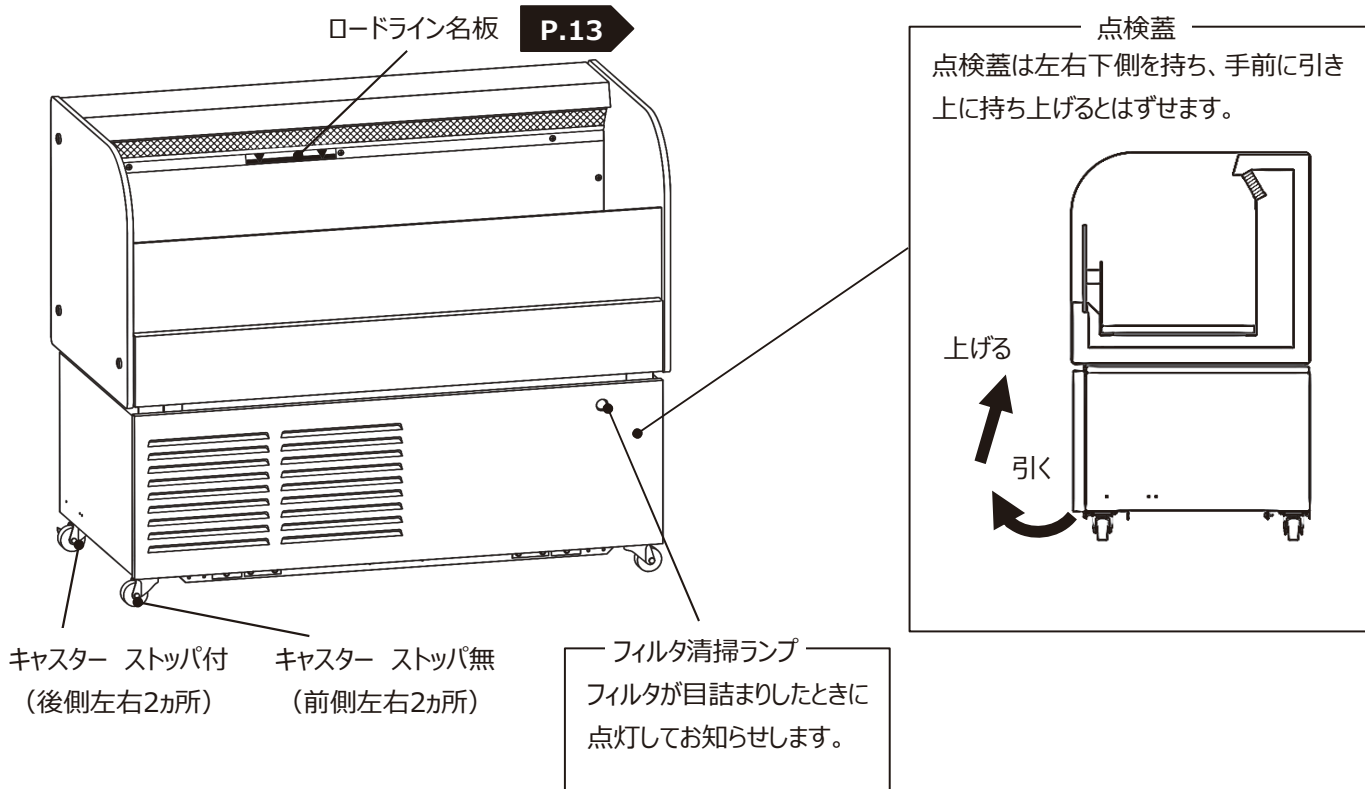
 警告	 <p>電源プラグを抜く</p>	<p>長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜く 火災の原因</p>	 <p>依頼する</p>	<p>移設は取扱販売店または、専門業者に依頼する 火災・感電・水漏れ・ケガの原因</p>
	 <p>傷つけない</p>	<p>製品を移動する時は、電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを傷つけないように移動する 火災・感電の原因</p>	 <p>力を加えない</p>	<p>製品を移動する時に、アクリル部分に力を加えない ケガの原因</p>
	 <p>避ける</p>	<p>製品を保管する場合は、幼児が遊ぶ場所を避ける ケガの原因</p>		
 注意	 <p>水ぬれ禁止</p>	<p>長期間ご使用にならない場合は、水のかかる場所や湿気の多い所に保管しない 漏電・感電の原因</p>	 <p>よく乾燥させる</p>	<p>長期間ご使用にならない場合は、庫内の水気を十分拭き取った後、よく乾燥させる 水漏れの原因</p>
	 <p>排水する</p>	<p>製品を移動する時は、蒸発皿の水を排水をする 漏電・感電の原因</p>		

ご使用上のお願い

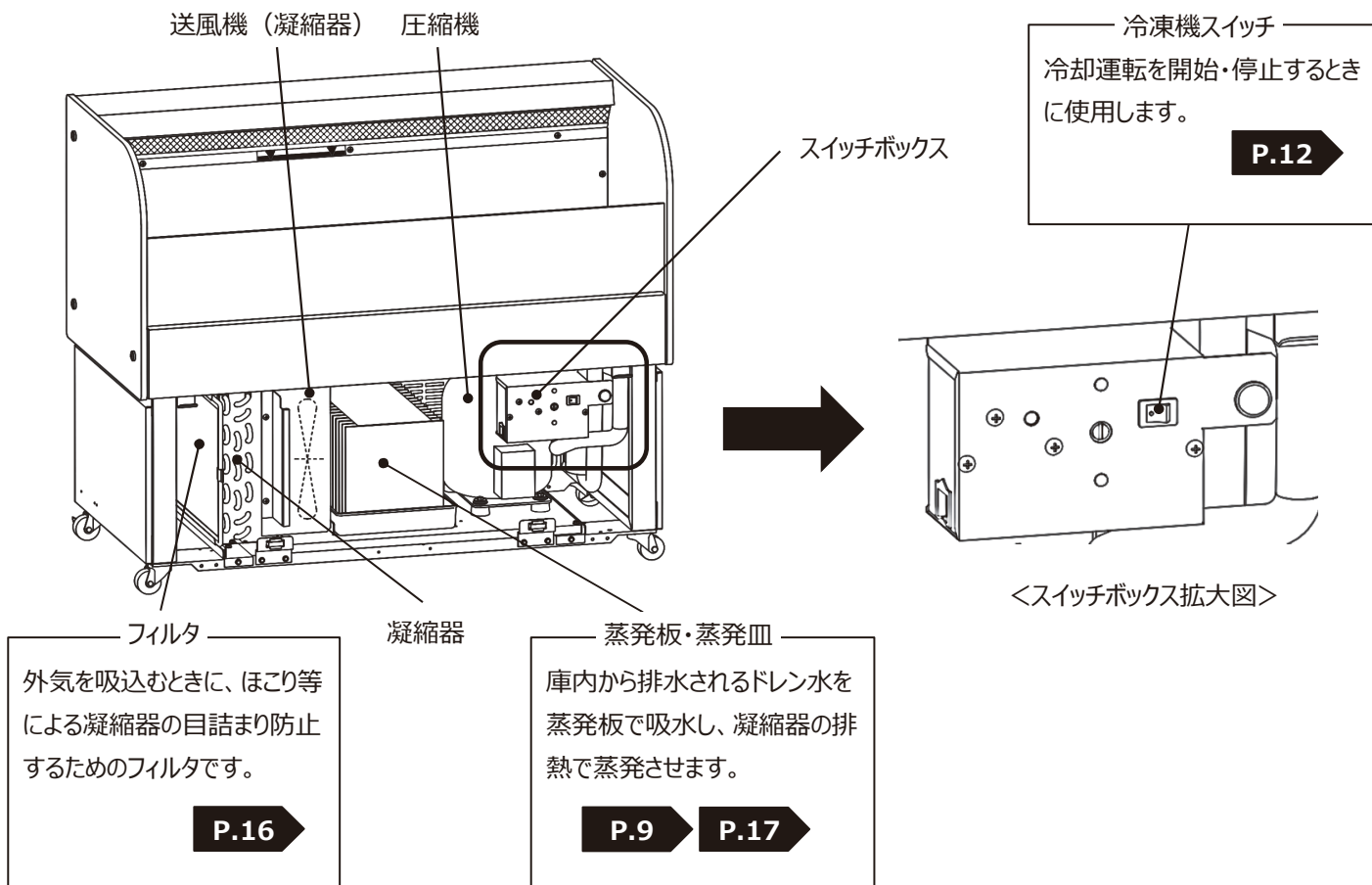
- 食品販売用のショーケースです、医薬品や学術試料など食品以外の保管には使用しないでください。
- 硫黄系ガス・酸・アルカリ雰囲気（温泉地・化学薬品工場・下水処理場・メッキ工場、食品加工工場や加工をする店舗）では、熱交換器や配管が腐食をおこすおそれがあります。
お買い上げの販売店にご相談ください。
- 製品を長く・清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れ・点検をしてください。
- 密閉容器（食品・飲料）の展示販売用としてご使用下さい。食品等を直接、冷却室内に入れると熱交換器の配管腐食による冷媒漏れをおこすおそれがあります。
- 冷却運転を停止したのち再度運転を開始するときは、圧縮機保護のため5分間おいてください。

各部のなまえとはたらき

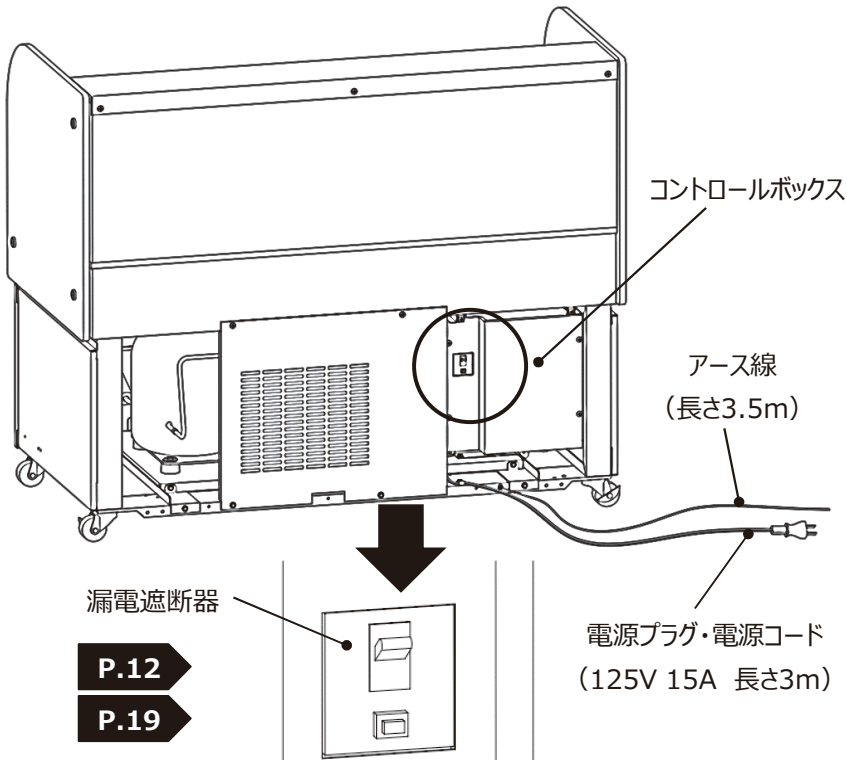
本体前面



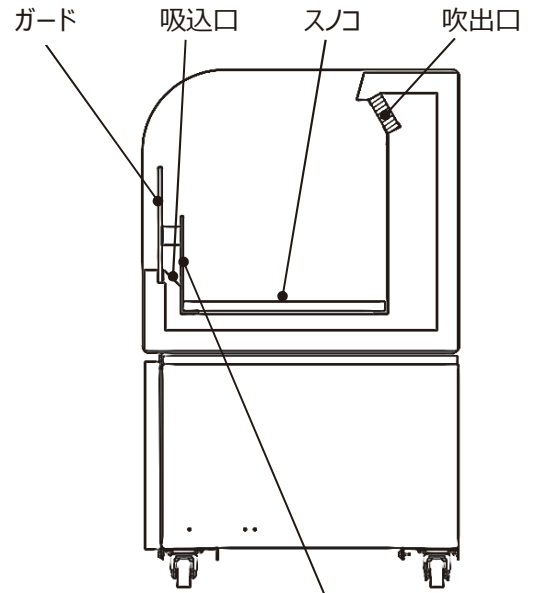
機械室 (本体前面点検蓋内部)



本体背面



本体庫内

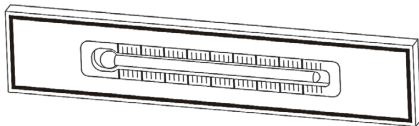


—吸込ガード—
商品によって吸込口がふさがれるのを防止しています。
取りはずさずにご使用ください。

P.13

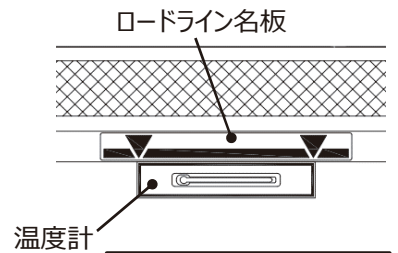
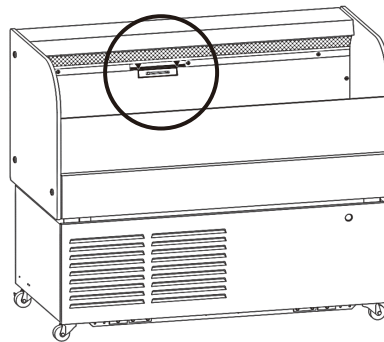
付属品

● 温度計 (マグネット付)



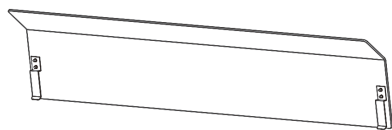
数量：1コ

このショーケースはフロン排出抑制法簡易点検実施機種です(点検頻度 四半期に1度)。庫内温度を確認するときなどにご使用ください。



庫内ロードライン名板の下に取り付けてください。

● エアガード

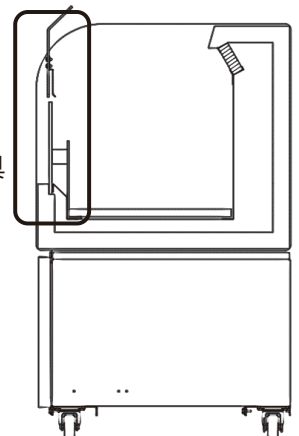
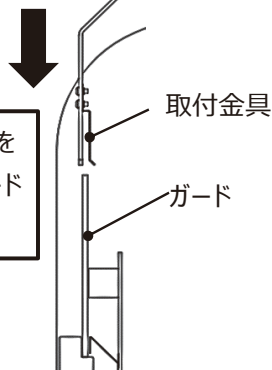


数量：1枚

エアガードの取付金具をショーケース本体のガードに差し込んでください

エアガードを取付けることで、庫内への外気侵入を減らし、消費電力量を抑えることができます。

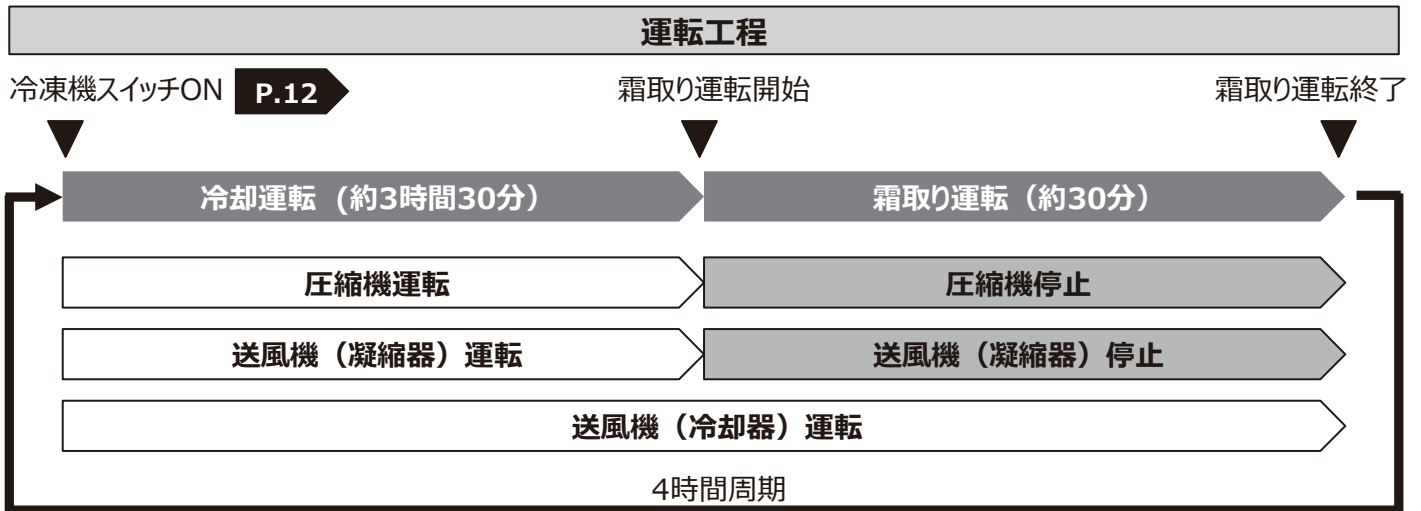
差し込む



運転動作について

運転動作

冷却運転を開始すると、冷却運転と霜取り運転を4時間周期で繰り返します。



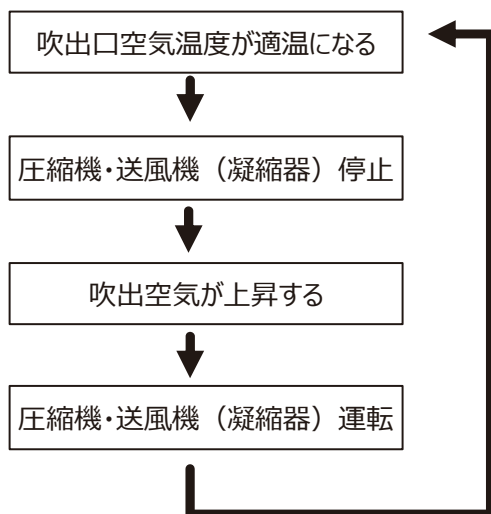
- 霜取り運転はタイマーで自動的に開始・終了します。
- 霜取り運転中に冷凍機スイッチをOFFにした場合、再び運転を開始したときに残りの霜取り時間経過後（最大30分）冷却運転を開始します。

冷却運転 (約3時間30分)

- 冷却器で冷やされた冷気を送風機 (冷却器) で循環させ庫内を冷却します。 **P.9**

庫内温度の調節について

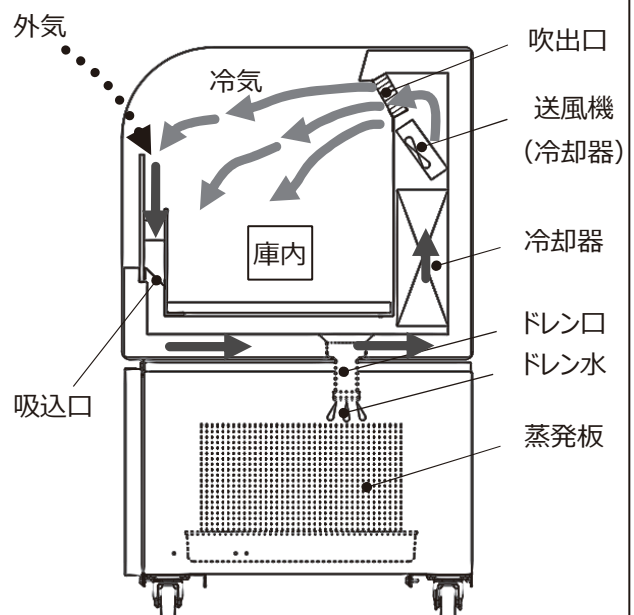
- 冷却運転中庫内温度を保つために温度調節を行なっています。
- 吹出口の空気温度を検知して圧縮機と送風機 (凝縮器) の運転・停止を繰り返し、調節を行っています。



霜取り運転 (約30分)

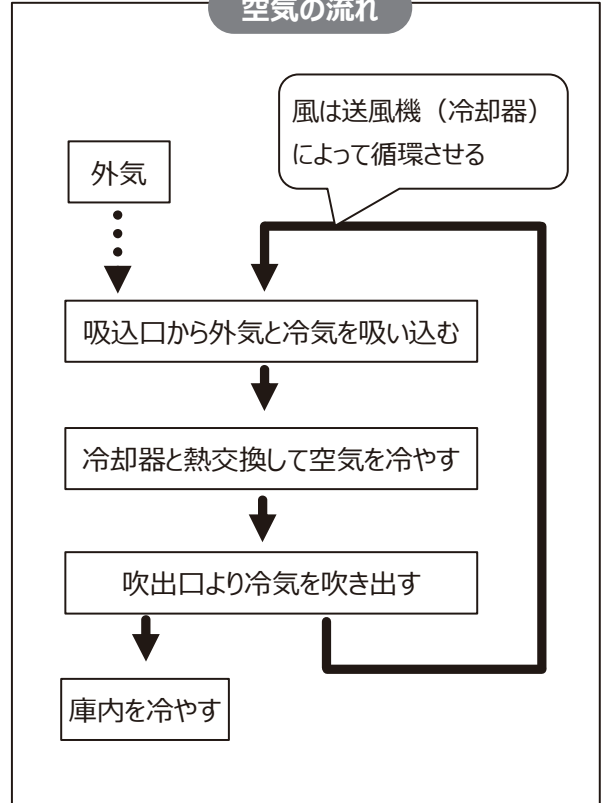
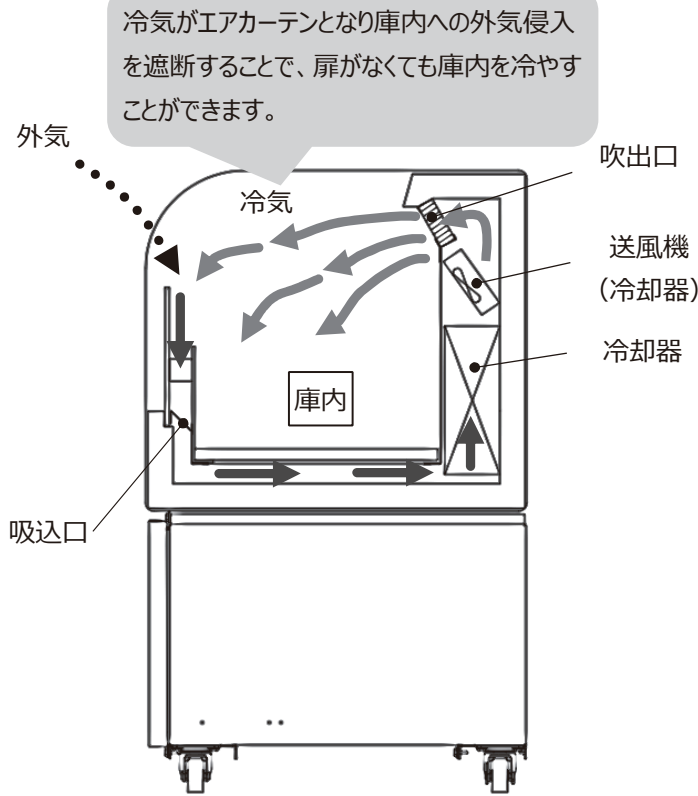
- 冷却運転中に冷却器についた霜をとるための運転です。

- 溶けた霜は庫内のドレン口からドレン水として蒸発板上に滴下し、蒸発板で蒸発させます。
- ドレン水の処理は不要です。 **P.9**



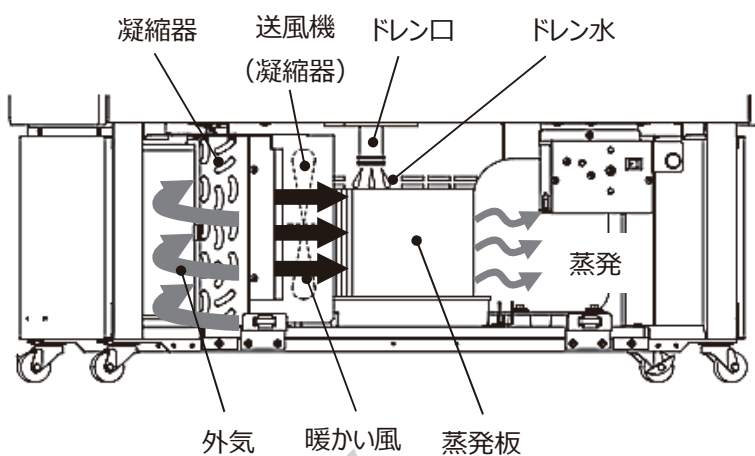
庫内の冷やし方

送風機（冷却器）によって風を循環させ、冷却器と熱交換して冷やされた空気を吹出口から吹き出し、庫内を冷やしています。



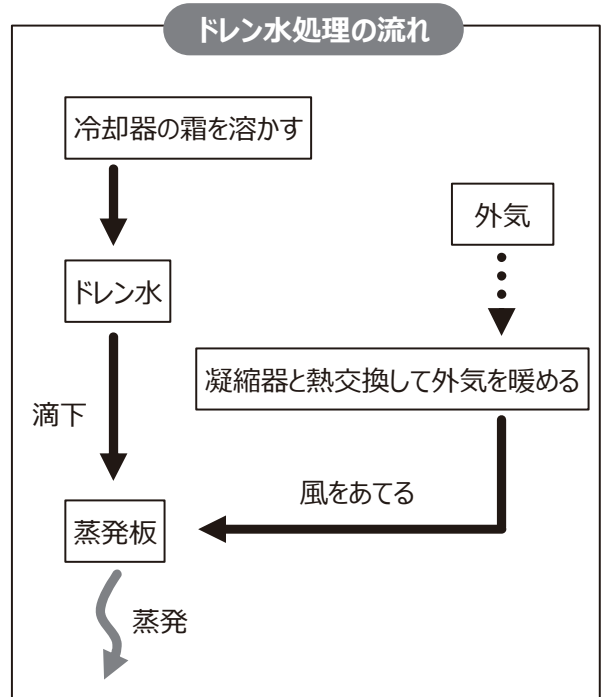
ドレン水処理のしかた

庫内からのドレン水を蒸発板に滴下し、蒸発させています。ドレン水の処理は不要です。



外気は凝縮器と熱交換してあたためられます

蒸発板にドレン水を吸わせて、暖かい風をあてて蒸発させます



ご使用前の準備

据え付け場所の選定

性能を十分発揮できるように次のような場所に設置してください。

ご使用されるお客様自身で据え付けしないでください。（安全や機能の確保ができません）

周囲環境

温度	15~27℃
湿度	60%以下

- この表の範囲を外れると性能の低下の原因になります。
- 周囲温度が35℃以上（夜間、空調運転停止時など）になると、保護装置により、正常な運転が保てなくなります。

風のあたらないところ

周囲風速	0.2m/sec以下
------	------------

- 店舗の出入口付近や空調ダクト・換気扇などの風の影響を受ける場所に据え付けしないでください。
- 冷気が乱れショーケース庫内に外気が入り込みやすくなり、冷却性能や蒸発性能低下の原因になります。

熱気から離れたところ


- 近くに熱源があるところや、直射日光のあたるところに据え付けしないでください。
- ショーケースの周囲温度が上昇し、暖かい外気が庫内に入り込み冷却性能低下の原因になります。

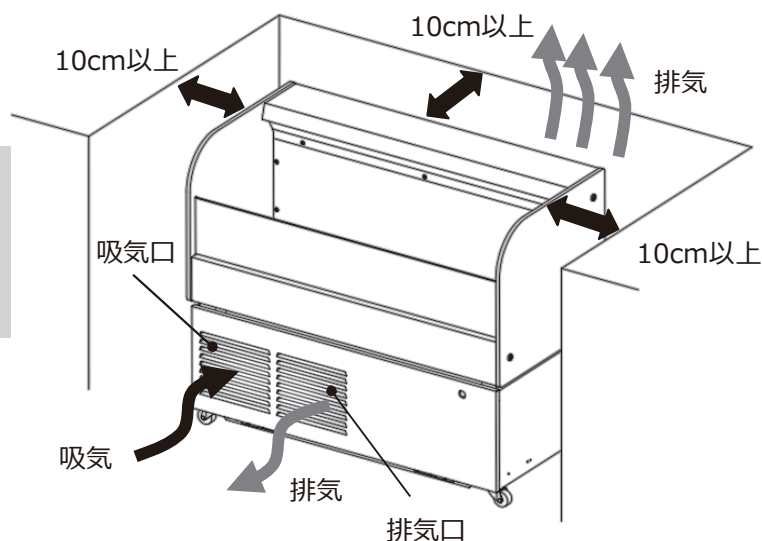
吸気・排気スペースを確保する

- 吸気スペースを確保していないと、冷却性能や蒸発性能低下の原因になります。
- 排気スペースを確保していないと、暖かい外気が庫内に入り込み、冷却性能低下の原因になります。

丈夫で水平なところ

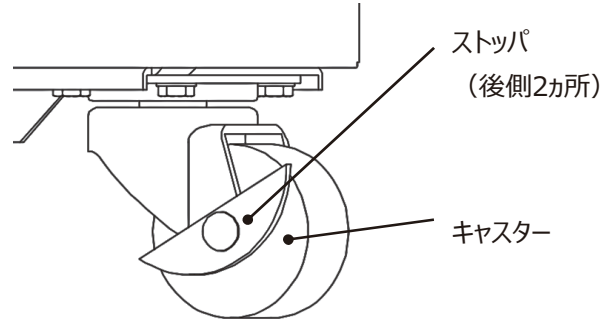
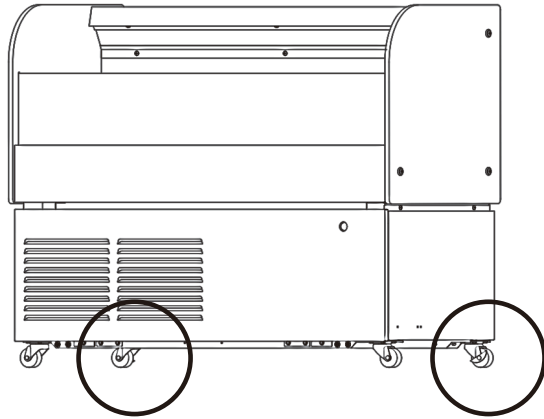
- 不安定な場所に据え付けると振動や音の原因になります。

 警告	据え付けは取扱販売店または設置業者に依頼する 火災・感電・水漏れの原因
	屋外で使用しない 火災・感電・漏電の原因
	湿気の多い所や、水のかかりやすい場所に据え付けない 漏電・感電の原因



設置

ショーケースが移動しないようにショーケース後側キャスター（左右2カ所）のストッパを固定してください。



電源

電源

電源	電源プラグ
単相100V	2極 (125V 15A)



警告

電源は専用の単相100V
コンセントを使用する
火災・発熱の原因

アース

万が一の感電を防止するために、アースを接続してください。

- アース端子がない場合は、必ずD種接地（アース）工事を実施してご使用ください。

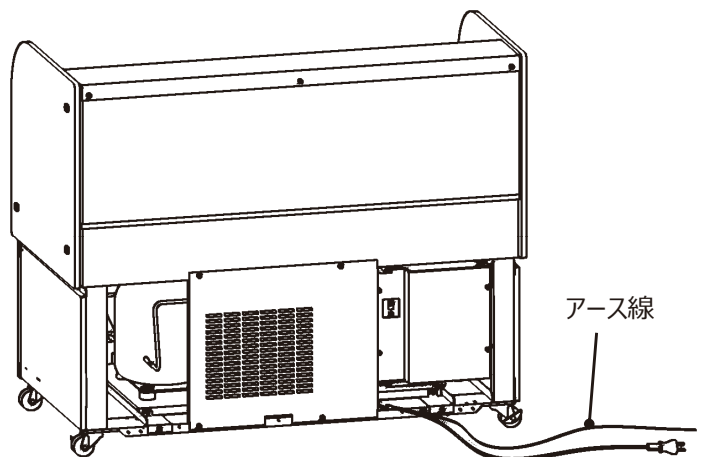
アース線について

付属のアース線をご使用ください。

- ◆アース線（銅線直径1.6mm以上）

このショーケースの据え付けは、お買上の販売店が下記に基づき実施しています。

据付工事完了後、22ページの事項をお客様自身でご確認ください。



工事名	関連法規・内容	資格
アース 接地工事	「電気設備に関する基準」 及び「内線規程」	第二種電気工事士



警告

アースを接続する
アース線はガス管・水道管・
避雷針・電話のアース線
には接続しない
感電の原因

ご使用方法

食品販売用のショーケースです、医薬品や学术試料など食品以外の保管には使用しないでください。

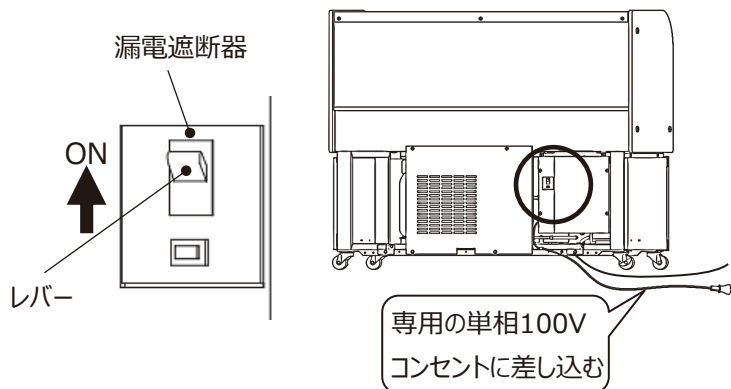
冷却運転を開始・停止する

運転を開始する前にショーケース専用の单相100Vコンセントを使用していることを確認してください。

1

漏電遮断器が「ON」になっていることを確認する

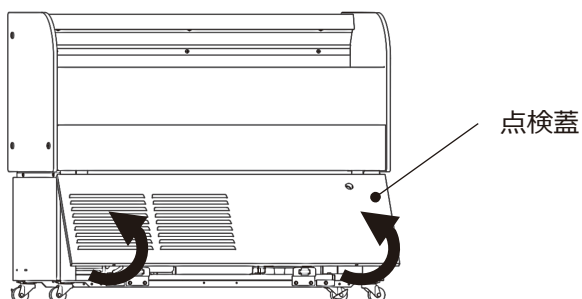
- 「OFF」のときは、レバーを「ON」にしてください。



2

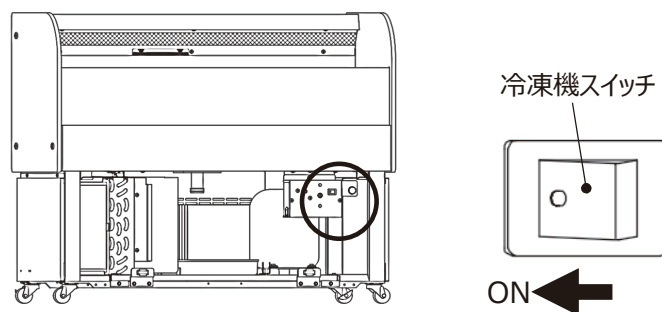
点検蓋をはずす

- 点検蓋は左右下側を持ち、手前に引き上に持ち上げるとはずせます。



3

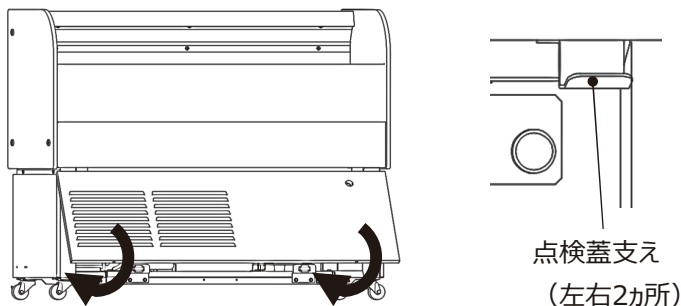
冷凍機スイッチを「ON」にする



4

点検蓋を取り付ける

- 点検蓋の上側を点検蓋支え(左右2カ所)に引っ掛け、下側を固定する。



お願い

冷却運転を停止したあと再び運転を開始するときは、停止後5分ほど経過してから運転を再開してください。

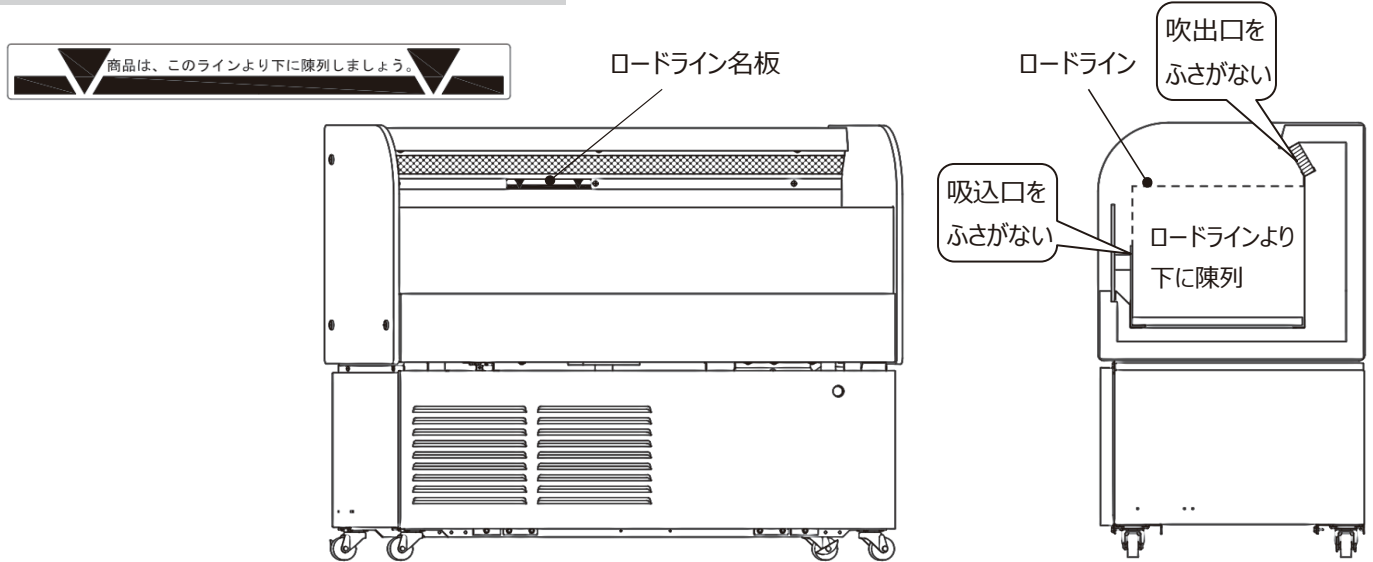
- すぐに運転を開始すると圧縮機に負担がかかり故障につながる場合があります。

商品をいれる

冷却運転を開始し、庫内が冷えてから商品を入れてください。

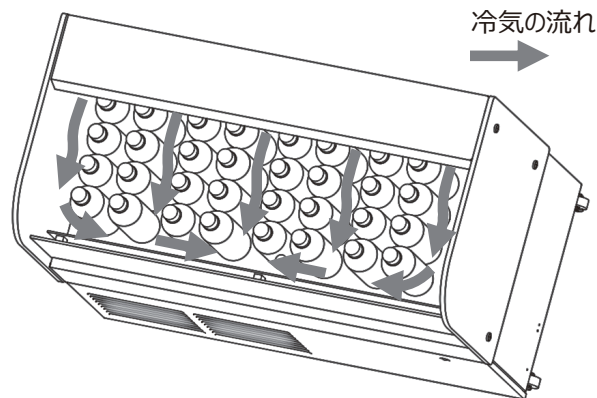
吹出口や吸込口をふさがないように商品はロードライン名板より下に陳列してください。

- 吹出口の前に商品を置くと凍結のおそれがあります。



商品陳列のポイント

- 冷気の通り道をつくる
商品の間に隙間をあげ、冷気を通りやすくすると商品温度を保ちやすくなります。



吸込ガードのはずしかた

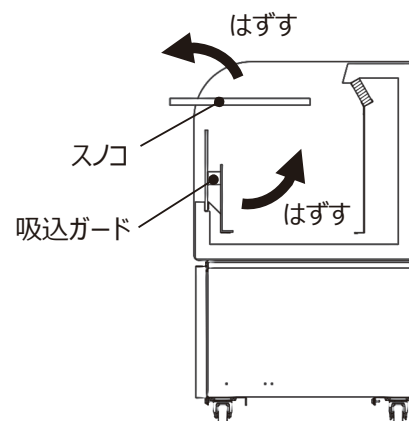
万が一吸込口に物を落としたときは、吸込ガードをはずすことができます。

1 スノコをはずす

- 商品がスノコの上に陳列されているときは、一時他のショーケースに移すなど、取り除いてから行ってください。

2 吸込ガードをはずす

- 吸込ガードは商品によって吸込口がふさがれるのを防止する部品です。取りはずしたあとは、必ず元に戻してください。



お手入れと点検

製品を長く・清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れ・点検をしてください。

お手入れ・点検箇所と頻度

ドレンロ・ドレン溝

お手入れ：月に1回

P.16

外装・内装

お手入れ：日常

- 乾いた布でから拭きをしてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、うすめた台所用洗剤（中性洗剤）を含ませた布で拭いたあと、水を含ませた布で拭き取ってください。
- 洗剤は原液のまま使用しないでください。

蒸発板

お手入れ：半年に1回

P.17

蒸発皿

点検：日常

（特に梅雨や夏場）

P.19

電源プラグ

お手入れ：半年に1回

P.18

フィルタ

お手入れ：月に1回

P.16

漏電遮断器

点検：月に1回

P.19

お願い

● 以下のものは使用しないでください。

（傷つき・腐食・変色・変形の原因になります）

- ◆ 台所用洗剤（中性洗剤）以外の洗剤
- ◆ ベンジン・シンナー・漂白剤・クレンザー・アルコール
- ◆ スチールタワシ・タワシ
- ◆ 熱湯・酸



警告

製品に直接水をかけない
漏電・感電の原因

お手入れをする前に

お手入れのときは必ず下記の手順で冷却運転を停止し、安全のために電源プラグを抜くか漏電遮断器を切ってください。



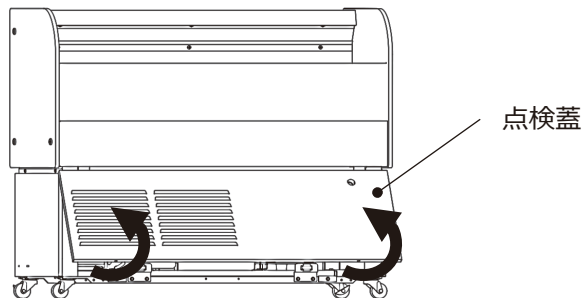
警告

お手入れや点検のときは必ず
電源プラグを抜くか漏電遮断
器を切る
感電・ケガの原因

1

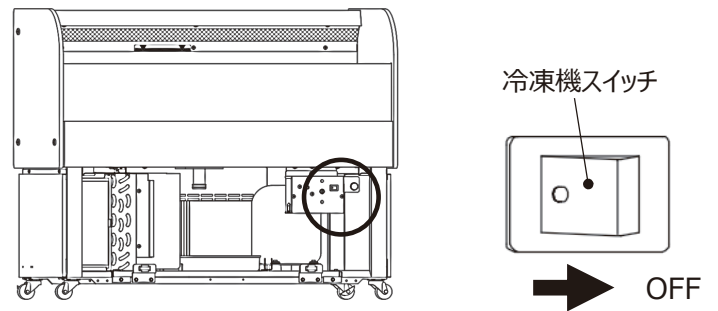
点検蓋をはずす

- 点検蓋は左右下側を持ち、手前に引き上に持ち上げるとはずせます。



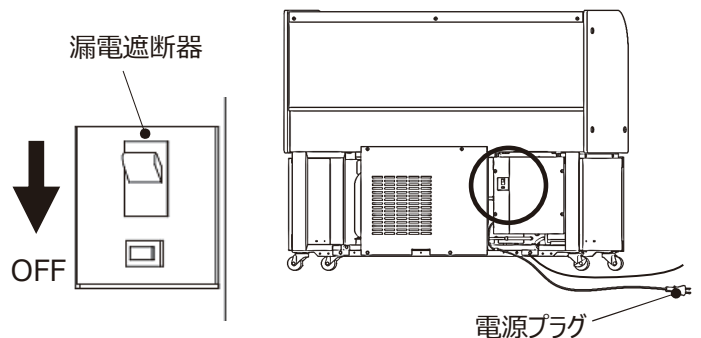
2

冷凍機スイッチを「OFF」にする



3

電源プラグを抜くか漏電遮断器を「OFF」にする



お手入れが終わりましたら、逆の手順で冷却運転を開始してください。
再び電源プラグを差すときはほこりをよく取り除き、根元まで確実に差し込んでください。

お手入れと点検 つづき

お手入れのしかた

フィルタ お手入れ：月に1回

ほこりがたまった状態で運転を続けるとフィルタ清掃ランプが点灯します。

そのままご使用を続けると圧縮機故障の原因になります。

1 電源を切る P.15

- お手入れのときは電源を切ってください。
フィルタ清掃ランプが点灯しているときに、冷凍機スイッチを「OFF」にしないで
お手入れをするとフィルター清掃ランプは点灯したままになります。

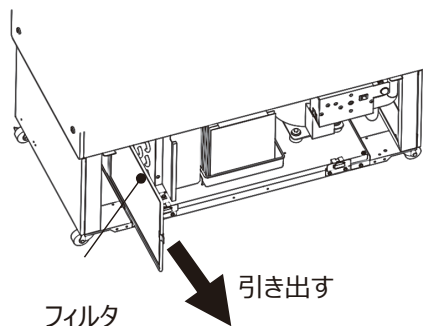
2 フィルタを引き出してほこりをよく取り除く

- 掃除機や、やわらかいブラシで取り除いてください。



注意

フィルタ清掃時は凝縮器フィンに直接手を触れないケガの原因

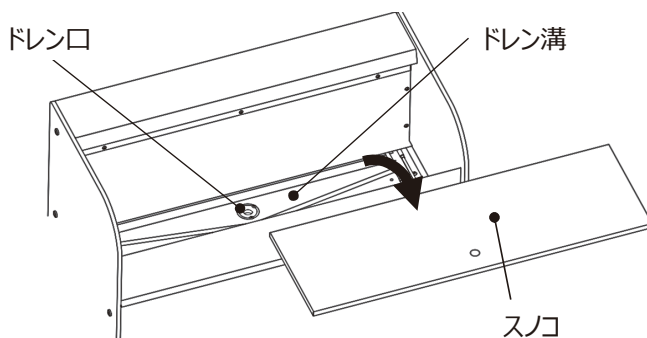


ドレン口・ドレン溝 お手入れ：月に1回

排水口がつまった状態でご使用されますと、ドレン水が排水されず庫内に水があふれる原因になります。

1 電源を切る P.15

2 スノコを取りはずす



3 ドレン口やドレン溝に異物やつまりがないか確認し、異物やつまりがあるときは取り除く

- 汚れがある場合は水を含ませた布でふいてください。
- ドレン口に直接水を流して清掃しないでください。
水漏れの原因になります。

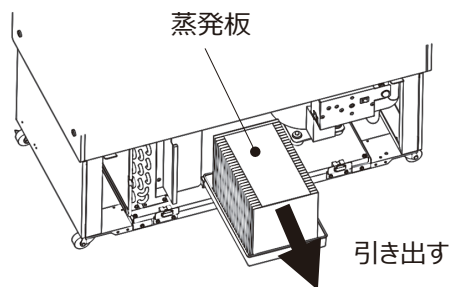
蒸発板 お手入れ：半年に1回

蒸発板に汚れが付着していると、蒸発性能低下による水漏れの原因になります。

1 電源を切る P.15

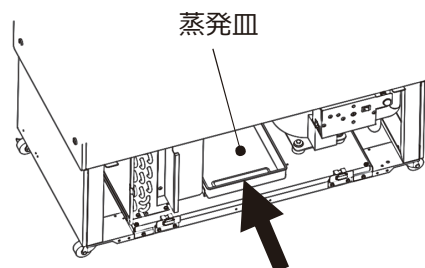
2 蒸発皿と蒸発板を取り出す

- 蒸発皿にドレン水がのこっている場合は布などで吸い取ってから取り出してください。



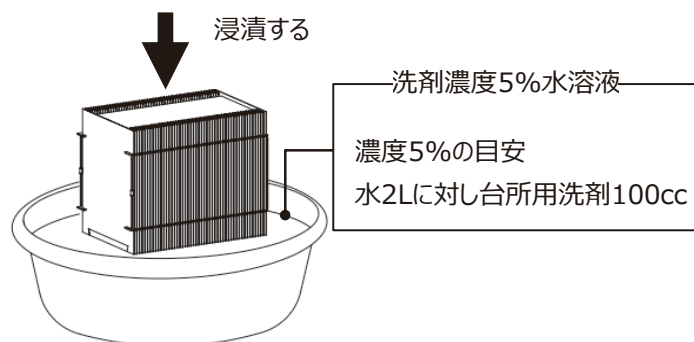
3 蒸発皿のみ元の位置に戻す

- 蒸発板をお手入れする間ドレン水を受けのため元に戻してください。



4 蒸発板を台所用洗剤（中性洗剤）を濃度5%にうすめた液に30秒ほど浸漬する

- 蒸発板は水を含むと重たくなりますので、持ち上げるときは蒸発板の底面を支えてください。
- 蒸発板をブラシなどでこすらないでください。



5 水でよく洗い流す

- 洗剤分が残っていると蒸発板のフレームのさびの原因になります。
- すぐに冷却運転を開始しないときは、蒸発板を乾かしてからショーケースに戻してください。

蒸発板の交換について

- お手入れをしても頻繁にドレン水が残っているようでしたら新しい蒸発板に交換してください。
- 蒸発板は消耗品です、2年を目安に交換してください。
- 環境によっては蒸発板の性能低下が進み、1年前後で交換になる場合があります。
(粉塵・油分の多い場所・温度・湿度の高い環境など)
- 蒸発板はお買い上げの販売店にご連絡ください。

お手入れのしかた (つづき)

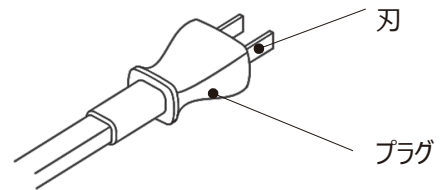
電源プラグ お手入れ：半年に1回

ほこりがたまったままご使用されますと、絶縁不良による火災の原因になります。

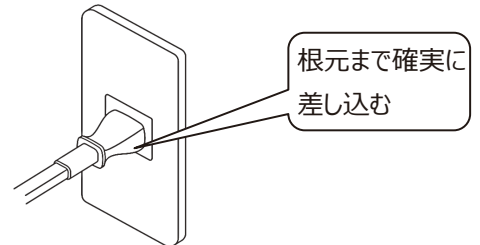
1 電源を切る P.15

2 電源プラグや刃のほこりをよく取り除く

- 水ぶきや水洗いはしないでください。



3 電源プラグの刃をコンセントの根元まで確実に差し込む



点検のしかた

蒸発皿 点検：日常（特に梅雨や夏場）

万が一の水漏れを防止するために蒸発皿にドレン水が残っていないか定期的に点検をしてください。

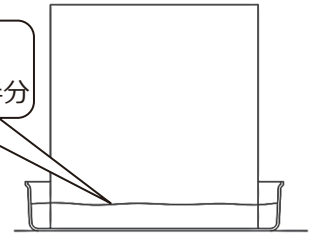
1 電源を切る P.15

2 蒸発皿にドレン水が残っていないか確認し、残っているときは排水をする

- 蒸発皿深さ半分くらいのドレン水が頻繁に残っている場合は蒸発板の性能が低下しているおそれがあります。蒸発板のお手入れをするか新しい蒸発板に交換してください。

P.17

水位目安
蒸発皿深さの半分



漏電遮断器 点検：月に1回

故障した状態でご使用されますと、火災・感電の原因になります。



警告

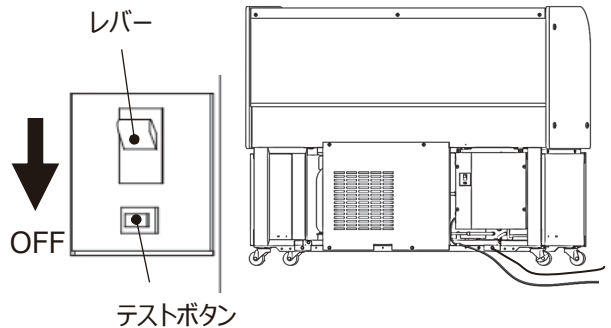
漏電遮断器は定期的に
動作を確認する
火災・感電の原因

1 漏電遮断器のテストボタンを押す

- 点検は電源が入ってる状態で行ってください。
- 正しく作動するとレバーが「OFF」になります。

点検時に正しく漏電遮断器が作動しないとき

運転を停止して必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を他のショーケースに移すなど処置した上で、お買い上げの販売店にご連絡ください。



2 作動確認後、レバーの位置を「OFF」から「ON」にする

お願い

冷却運転を停止したあと再び運転を開始するときは、停止後5分ほど経過してから運転を再開してください。

- すぐに運転を開始すると圧縮機に負担がかかり故障につながる可能性があります。

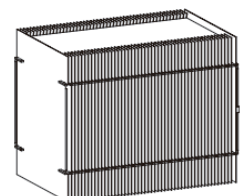
消耗品

蒸発板は消耗品です。2年を目安に交換をしてください。

ご注文はお買い上げの販売店へご連絡ください。

- 環境によっては蒸発板の性能低下が進み、1年前後で交換になる場合があります。（粉塵・油分の多い場所・温度・湿度の高い環境など）

サービス部品コード
R22046868



故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前に以下のことをお調べください。

現象	原因の確認	処置方法
運転しない 運転が止まる	お店の電源ヒューズや漏電遮断器が きれていませんか。	お店の電源ヒューズや漏電遮断器を入れて ください。
	電源プラグがコンセントから抜けていま せんか。	電源プラグのほこりを取り除き根元まで確実に 差し込んでください。
	ショーケースの漏電遮断器が「OFF」 になっていませんか。	冷凍機スイッチを「OFF」にした状態で 漏電遮断器を「ON」にしてください。 その後冷凍機スイッチを「ON」にして ください。 P.12
	冷凍機スイッチが「OFF」になって いませんか。	冷凍機スイッチを「ON」にしてください。 P.12
	霜取り運転中ではありませんか。 およそ4時間に1回霜取りのため 圧縮機と送風機（凝縮器）が 30分ほど停止します。	30分程経過した後、圧縮機と送風機 （凝縮器）が運転しているか確認して ください。 P.8
	温度調節運転中ではありませんか。 吹出空気温度が設定値まで下がる と、温度調節のため、圧縮機と送風 機（凝縮器）が停止します。	吹出空気が設定値まで上昇すると運転 再開しますので、しばらくしてから圧縮機と 送風機（凝縮器）が運転しているか確 認をしてください。 P.8
蒸発皿に ドレン水が 頻繁に残る	蒸発板が汚れていませんか。	蒸発板のお手入れをしてください。 それでも良くならない場合は、新しい 蒸発板に交換してください。 蒸発板はお買い上げの販売店に ご連絡ください。 P.17

現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない	ショーケース周囲に10cm以上のすきまがありますか。	ショーケース周囲に10cm以上のすきまをあけ、排気スペースを確保してください。 P.10
	ショーケースに風があたっていませんか。	庫内への外気侵入が増え冷えにくくなります。 P.10
	直射日光など、近くにショーケースを温めるものはありますか。	周囲の温度が上昇し、冷却性能が低下する原因になります。据え付け場所を調整してください。 P.10
	ショーケース前側の吸気・排気口を段ボールなどで塞いでいませんか。	ダンボールを取り除き、吸気・排気スペースを確保してください。 P.10
フィルタ清掃ランプが点灯する	フィルタが目詰まりしていませんか。 ●フィルタ清掃ランプ点灯中は、圧縮機保護のため強制断続運転をしています。	フィルタのお手入れをしてください。 ●フィルタを清掃せずに運転を続けると圧縮機が故障する原因になります。 P.16
フィルタ清掃ランプが消灯しない	フィルタお手入れのときに、冷凍機スイッチをOFFにしましたか。	冷凍機スイッチを一度OFFにし、5分経過後再度冷凍機スイッチをONにして運転を再開してください。 P.16
音がうるさい	不安定な場所に据え付けていませんか。	水平で床の丈夫なところに据え付けるよう調整してください。 P.10
	ショーケースが壁や物などに当たっていませんか。	ショーケースが壁や物などに当たらないように据え付け位置を調整してください。
	点検蓋が正しく取り付けられていますか。	点検蓋の上側を点検蓋支え金具に引っ掛けて下側を固定してください。 P.12

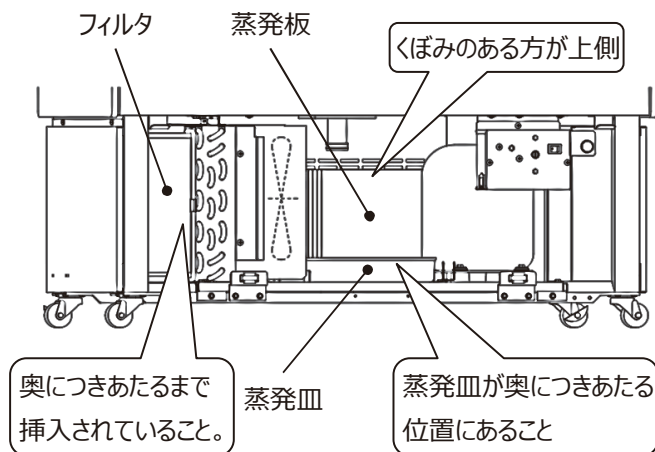
以上をお調べになっても不具合がある場合は運転を停止して必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買い上げの販売店にご連絡ください。

据付工事確認と試運転

試運転を行う際、立ち会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、据付実施者から説明を受けてください。

据付工事完了時の確認事項

- キャスターのストッパで固定されていますか。 P.11
- ショーケースの吸気・排気スペースは確保されていますか。 P.10
- アース線が接続されていますか。 P.11
- ショーケース専用のコンセントを使用していますか。 P.11
- フィルタが挿入されていますか。
- 蒸発皿の位置のずれや、蒸発板が上下逆になっていませんか。



保管・移設・廃棄について

長期間ご使用にならないとき

- 庫内の商品を全部取り出し、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ドレン口・ドレン溝とその周りをきれいに清掃し、水気を十分拭きとったあと、よく乾燥させてください。
- 水のかかる場所や、湿気の多いところには保管しないでください。
- 製品を保管するときは幼児が遊ぶ場所をさけてください。
- 蒸発板のお手入れをしてください。

移設をするとき

- 移設は販売店または専門業者に依頼してください。
- 取扱説明書と「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別添）を製品の目立つところに添付してください。

廃棄をするとき

- このショーケースはフロン排出抑制法第一種特定製品です。廃棄をするときは専門業者に依頼してください。
- この製品には冷媒としてHFC（フロン）が使用されています。
 - 1) フロン類をみだりに大気放出することは法律で禁じられています。
 - 2) この製品を廃棄・整備する場合にはフロン類の回収が必要です。回収は都道府県に登録された第1種フロン類回収業者に依頼してください。
 - 3) フロン類の種類及び質量は、庫内機種名板に記載されています。

仕様

項目		形名	SP-HS362ARD	
用	途	-	日配・乳製品・飲料	
庫	内 温 度	℃	2~8℃	
電	源	-	単相100V	
本 体	外形寸法	高さ	mm 760	
		幅	mm 900	
		奥行	mm 450	
	定格内容積		L	59
	展示面積		m ²	0.26
	外 装		-	表面処理鋼板焼付塗装及び亜鉛メッキ鋼板
	内 装		-	表面処理鋼板焼付塗装及びステンレス鋼板
	断 熱 材		-	ウレタン注入発泡
	脚 部		-	前側：ゴム車輪径Φ40自在キャスター 2個 後側：ゴム車輪径Φ40自在キャスター 2個（ストッパ付）
	圧縮機	形 式	-	全密閉形（レシプロ式）
呼 称 出 力		W	300	
冷 却 器 形 式		-	クロスフィン（強制通風式）	
凝 縮 器 形 式		-	クロスフィン（強制通風式）	
冷媒	制 御 方 式	-	キャピリ方式	
	種 類	-	R134a	
	充 填 量	g	260	
地球温暖化係数（GWP）		-	1430	
除 霜 方 式		-	オフサイクル	
温 度 制 御		-	温度調節器	
標準装備		-	温度計、ドレン強制蒸発装置、漏電遮断器、キャスター 前面アクリルガード、アース線	
付 属 品		-	エアガード	
製 品 質 量		kg	55	
オ プ シ ョ ン		-	—	

品質向上のため、おことわりなく一部仕様を変更する場合がございます。

保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

- 「保証書」は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 「保証書」は内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買上げ日から1年間です。
(冷凍サイクル用部品は2年間です。)

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このショーケースの補修用性能部品を製造打切後12年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店が「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別添）にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（P.20～21）にしたがってお調べください。

- なお、不具合がある場合は運転を停止して必ず電源プラグを抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買上げの販売店にご連絡ください。

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

●保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料になることがあります。

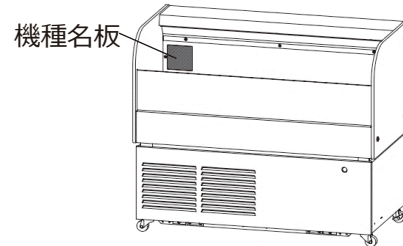
●修理料金は

技術料+部品代+出張料などで構成されています。

- 技術料・・・製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代・・・修理に使用した部品代金です。
- 出張料・・・お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

●ご連絡頂きたい内容

- 1.品名 三菱ショーケース
- 2.形名 庫内機種名板に記載
< 例 > SP-HS362ARD
- 3.製造番号（庫内機種名板に記載の8桁の番号）



- 4.故障の状況（できるだけ具体的に）
- 5.設置年月日
- 6.設置場所のご住所
- 7.お名前・電話番号・訪問希望日

便利メモ

お買上販売店名

電話番号

三菱電機株式会社

三菱電機冷熱応用システム株式会社

〒640-8686 和歌山市手平6丁目5番66号（三菱電機（株）冷熱システム製作所（内））

ES79D378H02